

一般用医薬品の指定医薬品解除について

1 一般用医薬品の指定医薬品解除における取扱いについて

(1) 「指定医薬品」とは、薬事法第29条に基づき厚生労働大臣の指定する医薬品であり、薬局又は一般販売業において薬剤師による取り扱いを必要とし、薬種商販売業においては販売することができない医薬品を指す。

「薬種商販売業」とは、都道府県知事が法第28条に基づき、指定医薬品以外の医薬品を取り扱うにつき必要な知識経験を有すると認められる者に対して店舗ごとに許可を与える一般用医薬品の販売業である。

(2) 一方、医療用医薬品の成分のうち、薬剤師等の指導の下、一般使用者自らの判断によっても十分に安全かつ適正な使用が確保されうると考えられるものについては、一般用医薬品の成分として承認しているところ（いわゆるスイッチOTC）であるが、スイッチOTCとしての承認時には、一般用医薬品としての使用経験は少ないとから、指定医薬品として薬剤師による取り扱いを必要としている。

(3) スイッチOTCについては、その承認に際して少なくとも3年間（原則として、内用薬は3,000例、外用薬は1,000例）の市販後調査（PMS）の実施を求めているところであるが、その指定医薬品の解除については、平成11年以降、次のような取扱いとしており、医薬品等安全対策部会における審議を踏まえ、品目ごとに解除している。

① 内用薬は、承認後3年のPMS期間の終了時に安全性の観点からの一定の評価を行った上で、指定医薬品から解除、又は、必要な場合には、更に1～3年間の観察等を行った後、再度評価を行うことにより指定医薬品からの解除を検討する。

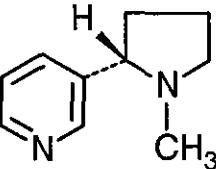
② 外用薬は、原則として、承認後3年のPMS期間終了時に安全性の観点からの一定の評価を行った上で、指定医薬品からの解除を行う。

2 今般、指定医薬品からの解除を検討する一般用医薬品

(1) 1個中ニコチンとして2mg以下を含有する咀嚼剤（禁煙補助剤）…別添1

(2) フエルビナク0.5%以下（7cm×10cm1枚（膏体1g）中5mg以下）

を含有する貼付剤（消炎鎮痛剤）…別添2

一般名	ニコチン																
構造式																	
(医療用製剤については、平成13年6月20日に承認整理されているため、以下、参考)																	
参 考	<table border="1"> <tr> <td>医療用製剤</td> <td>ニコレット (1個中ニコチン2mg含有)</td> </tr> <tr> <td>医療用承認年月日</td> <td>平成6年4月1日</td> </tr> <tr> <td>医療用効能・効果</td> <td>循環器・呼吸器・消化器疾患などを基礎疾患に持ち、医師により禁煙が必要と診断された喫煙者が医師の指導の下に行う禁煙の補助</td> </tr> <tr> <td>医療用用法・用量</td> <td>喫煙欲求が生じた時、本剤1回1個をゆっくりと間をおきながら、約30分間咀嚼する。通常、1日6~12個の投与より始めて1日の総投与量を次第に減らし、1日1~2個となった段階で投与を終了する。初期使用量は喫煙の状況により適宜増減するが、1日30個を限度とする。投与中は、2~4週ごと又はそれ以下の間隔で禁煙の進行状況を検討し、本剤の継続投与の必要性を判断しながら、通常3ヶ月をめどに投与を行うが、6ヶ月を超えて投与しないこと。</td> </tr> </table>	医療用製剤	ニコレット (1個中ニコチン2mg含有)	医療用承認年月日	平成6年4月1日	医療用効能・効果	循環器・呼吸器・消化器疾患などを基礎疾患に持ち、医師により禁煙が必要と診断された喫煙者が医師の指導の下に行う禁煙の補助	医療用用法・用量	喫煙欲求が生じた時、本剤1回1個をゆっくりと間をおきながら、約30分間咀嚼する。通常、1日6~12個の投与より始めて1日の総投与量を次第に減らし、1日1~2個となった段階で投与を終了する。初期使用量は喫煙の状況により適宜増減するが、1日30個を限度とする。投与中は、2~4週ごと又はそれ以下の間隔で禁煙の進行状況を検討し、本剤の継続投与の必要性を判断しながら、通常3ヶ月をめどに投与を行うが、6ヶ月を超えて投与しないこと。								
医療用製剤	ニコレット (1個中ニコチン2mg含有)																
医療用承認年月日	平成6年4月1日																
医療用効能・効果	循環器・呼吸器・消化器疾患などを基礎疾患に持ち、医師により禁煙が必要と診断された喫煙者が医師の指導の下に行う禁煙の補助																
医療用用法・用量	喫煙欲求が生じた時、本剤1回1個をゆっくりと間をおきながら、約30分間咀嚼する。通常、1日6~12個の投与より始めて1日の総投与量を次第に減らし、1日1~2個となった段階で投与を終了する。初期使用量は喫煙の状況により適宜増減するが、1日30個を限度とする。投与中は、2~4週ごと又はそれ以下の間隔で禁煙の進行状況を検討し、本剤の継続投与の必要性を判断しながら、通常3ヶ月をめどに投与を行うが、6ヶ月を超えて投与しないこと。																
一般用製剤	<table border="1"> <tr> <td>ニコレット (1個中ニコチン2mg含有)</td> </tr> <tr> <td>ニコレット・ミント (1個中ニコチン2mg含有)</td> </tr> </table>	ニコレット (1個中ニコチン2mg含有)	ニコレット・ミント (1個中ニコチン2mg含有)														
ニコレット (1個中ニコチン2mg含有)																	
ニコレット・ミント (1個中ニコチン2mg含有)																	
一般用承認年月日	<table border="1"> <tr> <td>ニコレット : 平成13年6月20日</td> </tr> <tr> <td>ニコレット・ミント : 平成15年12月16日</td> </tr> </table>	ニコレット : 平成13年6月20日	ニコレット・ミント : 平成15年12月16日														
ニコレット : 平成13年6月20日																	
ニコレット・ミント : 平成15年12月16日																	
一般用効能・効果	禁煙時のイライラ・集中困難・落ち着かないなどの症状の緩和																
一般用用法・用量	<p>タバコを吸いたいと思ったとき、1回1個をゆっくりと間をおきながら、30~60分間かけてかむ。1日の使用個数は表を目安とし、通常、1日4~12個から始めて適宜増減するが、1日の総使用個数は24個を超えないこと。禁煙になれてきたら(1ヶ月前後)、1週間ごとに1日の使用個数を1~2個ずつ減らし、1日の使用個数が1~2個となった段階で使用をやめる。なお、使用期間は3ヶ月をめどとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">使用開始時の1日の使用個数の目安</th> </tr> <tr> <th>1回量</th> <th>1日最大使用個数</th> <th>禁煙前の1日の喫煙本数</th> <th>1日の使用個数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1個</td> <td rowspan="3">24個</td> <td>20本以下</td> <td>4~6個</td> </tr> <tr> <td>21~30本</td> <td>6~9個</td> </tr> <tr> <td>31本以上</td> <td>9~12個</td> </tr> </tbody> </table>			使用開始時の1日の使用個数の目安		1回量	1日最大使用個数	禁煙前の1日の喫煙本数	1日の使用個数	1個	24個	20本以下	4~6個	21~30本	6~9個	31本以上	9~12個
		使用開始時の1日の使用個数の目安															
1回量	1日最大使用個数	禁煙前の1日の喫煙本数	1日の使用個数														
1個	24個	20本以下	4~6個														
		21~30本	6~9個														
		31本以上	9~12個														

一般用医薬品 市販後調査結果等	<p>ニコレットの市販後調査（平成 13 年 6 月 20 日～平成 16 年 2 月 18 日；特別調査予定症例数 3,000 例以上の集積時点での結果*）</p> <p>副作用</p> <p>(1) 特別調査： 3,014 例中 314 例(481 件) (副作用発現率 10.42%)</p> <p>はきけ 70 件、口内炎 57 件、のどの不快感 57 件、胸やけ 24 件、胃不快感 18 件、腹部不快感 17 件、ニコレットの苦みや辛み・味の異常 17 件、腹痛 15 件、食欲不振 13 件、口内刺激感 12 件、どうき 11 件、胸部不快感 11 件、気分不良 11 件、頭痛 11 件、ゲップ 10 件、のどの刺激感 10 件、ほか</p> <p>(*調査期間満了までのデータの見直しにより副作用用語及び数値に多少の変更があり得る。)</p> <p>ほとんどが「使用上の注意」から予測できる軽微な副作用であり、厚生労働省への報告対象症例はなし。</p> <p>(2) 一般調査： 188 例 (298 件)</p> <p>「使用上の注意」から予測できかつ軽微な症状を除いた症例は 40 例 (48 件) 認められた。未知の副作用は 24 例 (28 件) で、その内訳は、しびれ感 3 件、</p> <p>発熱、さむけ、足部痛、呼吸困難 各 2 件、</p> <p>心筋梗塞*、狭心症*、一過性難聴、眼の異常感、涙液分泌低下、唾液欠乏、黒色便、足部浮腫、口腔内ヘルペス病変、脳梗塞*、咳嗽、爪変色、扁平苔癬*、円形脱毛症*、口唇のあれ、歯肉損傷* 各 1 件</p> <p>*厚生労働省への報告対象症例 (6 例 (6 件))</p> <p>心筋梗塞、狭心症、脳梗塞の症例は喫煙自体がリスクファクターであることや症例の情報不足もあり因果関係が不明、また、他の副作用についても報告数が少なく因果関係の評価が困難であることから、現時点での使用上の注意の改訂等の必要性に乏しい。</p>
対応案	1 個中ニコチンとして 2mg 以下を含有する咀嚼剤を指定医薬品から解除する。



ニコチンガム製剤

特徴

- ニコレットはタバコをやめたいと望む人のための医薬品です。
- ニコレットは禁煙時のイライラ・集中困難などの症状を緩和します。(タバコをきらいにさせる作用はありません。)
- タバコを吸わない人や現在吸っていない人は、身体に好ましくない作用を及ぼしますので使用しないでください。
- ニコレットは使用量を徐々に減らすことで、あなたを無理のない禁煙へ導きます。

△ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起りやすくなる)

1. 次の人は使用しないこと

- (1) 非喫煙者(タバコを吸ったことのない人及び現在タバコを吸っていない人)(はきけ、めまい、腹痛などの症状があらわれることがある。)
- (2) すでに他のニコチン製剤を使用している人
- (3) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (4) 重い心臓病を有する人
 - 1) 3ヵ月以内に心筋梗塞の発作を起こした人
 - 2) 重い狭心症と医師に診断された人
 - 3) 重い不整脈と医師に診断された人
- (5) 急性期脳血管障害(脳梗塞、脳出血等)と医師に診断された人
- (6) 本剤の成分による過敏症状(発疹・発赤・かゆみ・浮腫等)を起こしたことがある人
- (7) あごの関節に障害がある人

2. 授乳期間中の人は本剤を使用しないこと(本剤を使用する場合は授乳をしないこと)

(母乳中に移行し、乳児の脈が速まることが考えられる。)

3. 本剤を使用中あるいは使用直後にはタバコを吸わないこと

4. 6ヵ月を超えて使用しないこと



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人
- (2) 他の薬を使用している人

(他の薬の作用に影響を与えることがある。)
- (3) 高齢者及び20歳未満の人
- (4) 本人又は家族がアレルギー体質の人
- (5) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人
- (6) 次の症状のある人
腹痛、胸痛、口内炎、のどの痛み・のどのはれ

(7) 医師から次の診断を受けた人

心臓疾患(心筋梗塞、狭心症、不整脈)、脳血管障害(脳梗塞、脳出血等)、バージャー病(末梢血管障害)、高血圧、甲状腺機能障害、褐色細胞腫、糖尿病(インスリン製剤を使用している人)、咽頭炎、食道炎、胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、腎臓病(症状を悪化させたり、現在使用中の薬の作用に影響を与えることがある。)

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談すること

関係部位	症状
口・のど	口内炎、のどの痛み
消化器	はきけ、嘔吐、腹部不快感、胸やけ、食欲不振、下痢
皮ふ	発疹・発赤・かゆみ
精神神経系	頭痛、めまい、思考減退、眠気
循環器	どうき
その他	胸部不快感、胸部刺激感、顔面潮紅、顔面浮腫、気分不良

3. 次のような症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、使用を中止し、医師、歯科医師又は薬剤師に相談すること

(1) 口内・のどの刺激感、舌の荒れ、味の異常感、唾液増加、歯肉炎(ゆっくりかむとこれらの症状は軽くなることがある。)

(2) あごの痛み

(他に原因がある可能性がある。)

(3) しゃっくり、げっぷ

4. 誤って定められた用量を超えて使用したり、小児が誤飲した場合には、次のような症状があらわれることがあるので、その場合には、直ちに医師又は薬剤師に相談すること

はきけ、唾液増加、腹痛、下痢、発汗、頭痛、めまい、聴覚障害、全身脱力(急性ニコチン中毒の可能性がある。)

5. 3ヵ月を超えて継続する場合は、医師又は薬剤師に相談すること

(長期・多量使用によりニコチン依存が本剤に引き継がれることがある。)

緊急時・中毒等の連絡先
ニコレット禁煙支援センター

TEL.03-5365-8314

音声自動応答システム【24時間対応】

(プッシュトーン対応の電話からおかけください)

相談員対応時間／月～金 9:00～17:00(祝日除く)

効能

禁煙時のイライラ・集中困難・落ち着かないなどの症状の緩和

用法・用量

タバコを吸いたいと思ったとき、1回1個をゆっくりと間をおきながら、30~60分間かけてかむ。1日の使用個数は表を目安とし、通常、1日4~12個から始めて適宜増減するが、1日の総使用個数は24個を超えないこと。禁煙になれてきたら(1ヵ月前後)、1週間にごとに1日の使用個数を1~2個ずつ減らし、1日の使用個数が1~2個となった段階で使用をやめる。なお、使用期間は3ヵ月をめどとする。

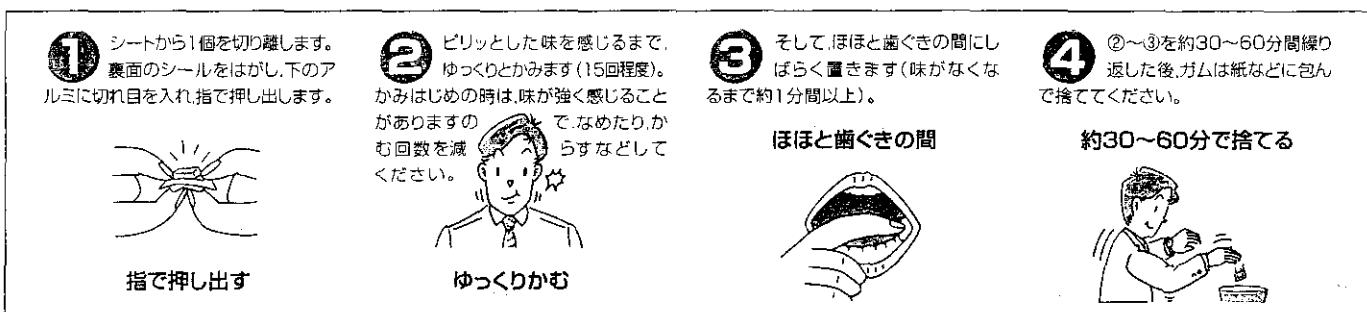
〈用法・用量に関する注意〉

- タバコを吸うのを完全に止めて使用すること。
- 1回に2個以上かまないこと。(ニコチンが過量摂取され、はきけ、めまい、腹痛などの症状があらわれることがある。)
- 辛みや刺激感を感じたらかむのを止めて、ほほの内側などに寄せて休ませること。
- 本剤はガム製剤であるので飲み込まないこと。また、本剤が入れ

使用開始時の1日の使用個数の目安			
1回量	1日最大使用個数	禁煙前の1日の喫煙本数	1日の使用個数
1個	24個	20本以下	4~6個
		21~30本	6~9個
		31本以上	9~12個

歯などに付着し、脱落・損傷を起こすことがあるので、入れ歯などの歯科的治療を受けたことのある人は使用に際して注意すること。

- コーヒー・炭酸飲料などを飲んだ後、しばらくは本剤を使用しないこと。(本剤の十分な効果が得られないことがある。)
- 口内に使用する吸入剤やスプレー剤とは同時に使用しないこと。(口内のどの刺激感、どの痛みなどの症状を悪化させることがある。)



成分

1個中、次の成分を含有する。

ニコチン 2mg

添加物として、ジブチルヒドロキシトルエン、パニリン、香料を含有する。

保管および取り扱い上の注意

- 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
(高温の場所に保管すると、ガムがシートに付着して取り出し�にくくなる。)
- 本剤は小児が容易に開けられない包装になっているが、小児の手の届かない所に保管すること。

- 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり、品質が変わる。)
- 使用期限を過ぎた製品は使用しないこと。
- かみ終わったガムは紙などに包んで小児の手の届かない所に捨てること。

包装 24個、48個(スターターキット)、96個

禁煙達成への心がまえ《まずは強い禁煙意志をお持ちください》

●もう一度禁煙しなければならない理由をよく考えましょう。
●ご自身にとって禁煙することの長所、短所を考えて、見比べてみましょう。
●禁煙に成功した後の健康的な生活を送るご自身を想像してみましょう。

●ストレスがあると感じたら、原因は何か考えてみましょう。そして、そのストレスを発散する方法を探してみてください。

●ストレスを和らげ、リラックスできる方法を実行しましょう。

●禁煙開始の日を何かの記念日にしてみてください。初心忘れ難くなります。

●家族、同僚や知人に禁煙宣言をしましょう。ご自分の禁煙意志が強化されるでしょう。

●スポーツ、散歩、趣味などタバコを忘れる努力をしましょう。

●飲み会、マージャンなど喫煙の誘惑がある場所は避けよう。

禁煙に伴うイライラ・集中困難・落ち着かないなどの症状に悩まされるのは禁煙開始から1~2週間の間です。ニコレットを十分量使用し、初めから無理に減らそうとしない方が効果的です。

製品及び禁煙に関するお問い合わせ先
ファイザー株式会社コンシューマー・ヘルスケア事業部
ニコレット禁煙支援センター



* 製造・発売 ファイザー株式会社
東京都渋谷区代々木三丁目22番7号

TEL.03-5365-8314

相談員対応時間／月～金曜日 9:00～17:00(祝日除く)

●ニコレットホームページ

<http://www.nicorette-j.com/>



販売 武田薬品工業株式会社

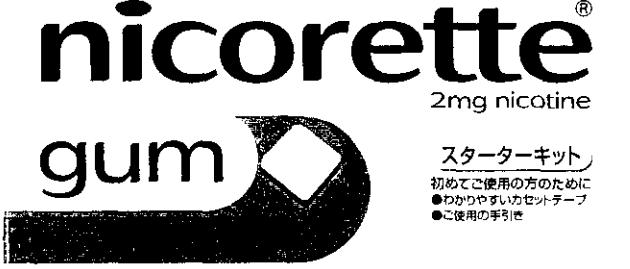
〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号

ヘルスケアカンパニー

〒103-8668 東京都中央区日本橋二丁目12番10号



nicorette[®]
gum
 2mg nicotine
 スターターキット
 48個
 禁煙補助剤
ニコレット[®]



nicorette[®]
gum
 2mg nicotine
 スターターキット
 初めてご使用の方のために
 ●わかりやすいセットテープ
 ●ご使用の手引き



 禁煙補助剤
ニコレット[®]
 ニコチンガム製剤
 医薬品
 helps beat
 each urge to
 smoke one
 step at a time

48個

禁煙補助剤
ニコレット[®]
 2mg nicotine
 スターターキット
 禁煙補助剤
ニコレット[®]
 48個

4


 987123142151

1P4153-1 MC

 箱
 成形シート:PVC、金属 製造番号
 袋:PE、金属
 力セットテープ
 外装フィルム:PP、PE

使用期限
 2005.1
 DA581



外箱が開いていたり、
中の包装が破れている
等、開封された形跡が
ある場合は使用しない
でください

禁煙補助剤[®] ニコチンガム ニコレット[®] 製剤

タバコを吸わない人や現在タバコをやめている人は使用しないでください。

【効能】禁煙時のイライラ・集中困難・
苦ちぬかないなどの症状の緩和

【成分】1個中の成分为含有する。

ニコチン 2mg
添加物として、ジフチルヒドロキシトルエン、パニレン、香料を含有する。

【用法・用量】タバコを吸いたいと思ったとき 1回・1粒をゆくくりと間をおさなから 30~60分間かけてかむ。1日の使用回数は柔軟に設定し通常、1日4~12回から始めて逐回増減するが、1日の使用回数は24回を超えないこと。
禁煙になれてきたら、1ヶ月前後、1週間に1回の使用回数を1~2個ずつ減らし、1日の使用回数が1~2個となつた段階で使用をやめる。なお、使用期間は3ヶ月をめどとする。

【注意】

1. 次の人は使用しないこと

(1) 非喫煙者：タバコを吸ったことのない人及び現在タバコを吸っていない人

(2) すでに他のニコチン製剤を使用している人

(3) 妊婦又は妊娠していると思われる人

(4) 重い心臓病を有する人

(5) 重い心筋症と迷走神経に抑制された人

(6) 重い脳梗塞と脳膜に抑制された人

(7) 急性期脑血管障害(脳梗塞、脳出血等)と医師に診断された人

(8) す剛の感染による過敏症け(発赤・発赤、かぶれ、手腫等)を起こしたことある人

(9) あごの開閉時に障害がある人

2. 授乳期間中の人には本剤を使用しないこと(本剤を使用する場合は授乳をしないこと)

3. 使用に際しては、説明文書をよく読むこと

4. 直射日光の当たらない温涼の少ない涼しい所に保管すること

5. 小児の手の届かない所に保管すること

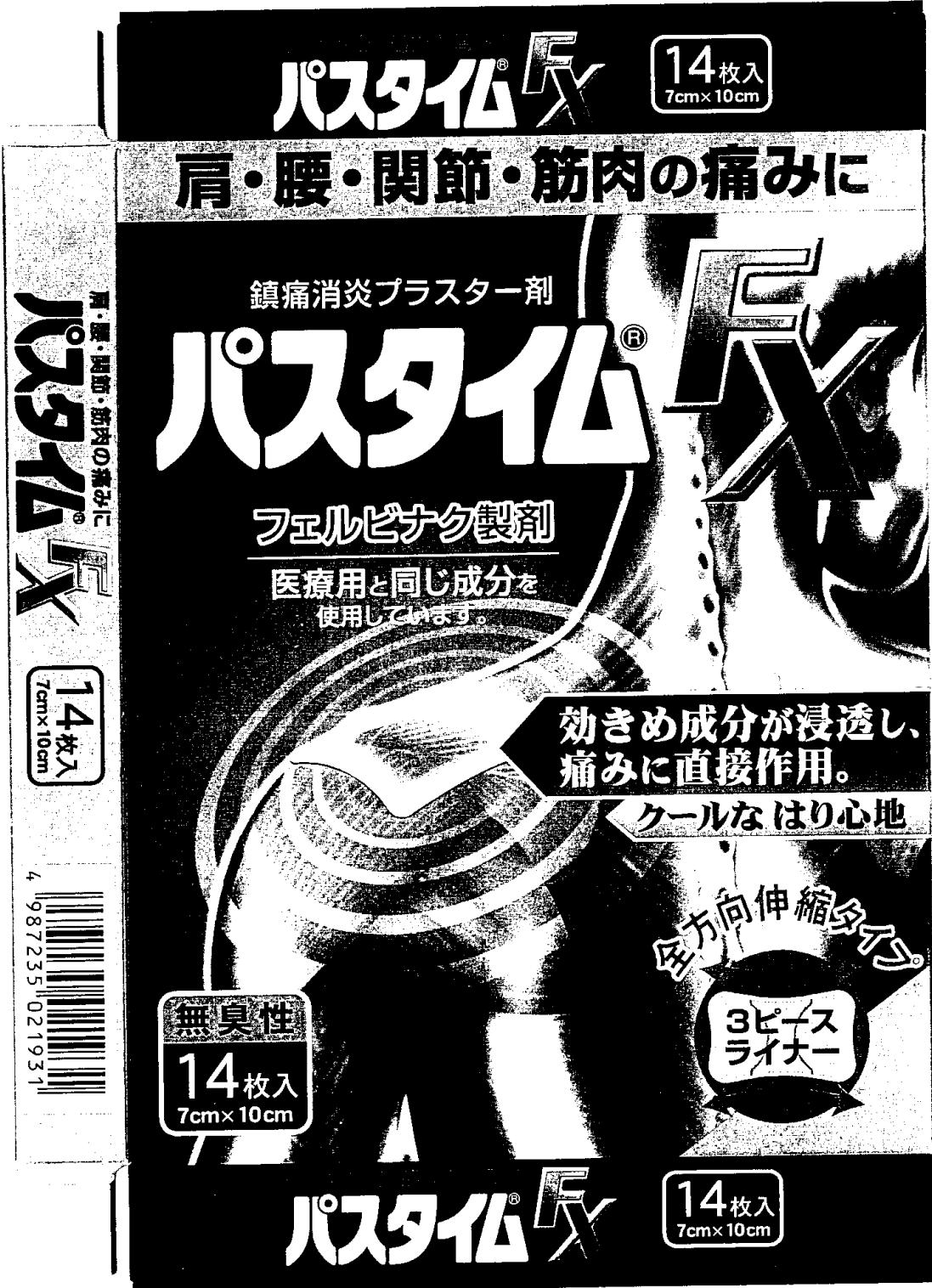
製造・発売 ファルマシア株式会社 販売 武田薬品工業株式会社
東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 大阪市中央区道修町四丁目1番1号

ニコレット禁煙支援センター 電話 03-5365-8314

①

一般名	フェルビナク
構造式	
医療用製剤	<p>ナパゲルン軟膏 ナパゲルンローション ナパゲルンクリーム 他 (以上、フェルビナク 3% 含有) セルタッチ 他 <10cm×14cm 貼付剤> (1枚 (膏体 14g) 中フェルビナク 70mg (フェルビナク 0.5%) 含有) スミルテープ <7cm×10cm 貼付剤> (1枚 (膏体 1g) 中フェルビナク 35mg (フェルビナク 3.5%) 含有)</p>
医療用承認年月日	<p>ナパゲルン軟膏 : 昭和 61 年 9 月 25 日 ナパゲルンローション : 平成 2 年 3 月 30 日 ナパゲルンクリーム : 平成 11 年 2 月 2 日 セルタッチ : 平成 5 年 7 月 2 日 スミルテープ : 平成 14 年 3 月 14 日</p>
医療用効能・効果	<p>軟膏剤、液剤 : 下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎 变形性関節症、筋・筋膜性腰痛症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎 (テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛 貼付剤 : 下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎 变形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎 (テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛</p>
医療用用法・用量	<p>軟膏剤 : 症状により、適量を 1 日数回患部に塗擦する。 液剤 : 症状により、適量を 1 日数回患部に塗布する。 貼付剤 : 1 日 2 回患部に貼付する。</p>
一般用製剤	<p>アペイン軟膏、アペインローション プロジェシックゲル、プロジェシックローション 他 アペインクール <エアゾール剤> (以上、フェルビナク 3% 含有) パスタイム FX、フェイタス <7cm×10cm 貼付剤> (1枚 (膏体 1g) 中フェルビナク 5mg (フェルビナク 0.5%) 含有)</p>
一般用承認年月日	<p>アペイン軟膏、アペインローション : 平成 7 年 4 月 14 日 プロジェシックゲル、プロジェシックローション : 平成 8 年 3 月 4 日 アペインクール : 平成 11 年 10 月 13 日 パスタイム FX、フェイタス : 平成 14 年 10 月 9 日</p>
一般用効能・効果	関節痛、筋肉痛、腰痛、腱鞘炎 (手・手首・足首の痛みと腫れ)、肘の痛み (テニス肘など)、打撲、捻挫、肩こりに伴う肩の痛み

一般用用法・用量	<p>軟膏剤 : 1日2~4回、適量を患部に塗擦してください。</p> <p>液剤 : 1日2~4回、適量を患部に塗布してください。</p> <p>エアゾール剤 : 適量を患部に1日2~4回塗布してください（手にとって塗布あるいは患部に直接噴射後塗布）。</p> <p>貼付剤 : 表面のライナーをはがし、1日2回を限度として患部に貼付する。</p>
一般用医薬品市販後調査結果等	<p>軟膏剤、液剤の市販後調査結果（平成7年4月14日～平成10年4月13日）</p> <p>副作用（軟膏剤、液剤合計）</p> <p>(1) 特別調査：1,833例中8例（13件）（副作用発現率0.44%） 発赤4件、刺激感3件、かぶれ2件、皮膚の変色1件、非塗布部位のしびれ感1件、発疹1件、気分不良1件</p> <p>(2) 一般調査：6例（12件） 発赤4件、かぶれ3件、痒み1件、水疱1件、発疹1件、びらん1件、小水疱1件</p> <p>（参考）</p> <p>貼付剤の市販後調査（平成14年10月9日～平成15年10月8日）</p> <p>副作用</p> <p>(1) 特別調査：267例中8例15件（副作用発現率3.00%） そう痒症5件、紅斑4件、接触性皮膚炎3件、皮膚疼痛1件、発疹1件、皮膚腫脹1件</p> <p>(2) 一般調査：11例19件 紅斑7件、そう痒症5件、皮膚腫脹2件、接触性皮膚炎1件、皮膚疼痛1件、発疹1件、熱感1件、疼痛増悪1件</p>
対応案	<p>フェルビナク0.5%以下（7cm×10cm1枚（膏体1g）中5mg以下）を含有する貼付剤を指定医薬品から解除する。</p> <p>（フェルビナク3%以下を含有する軟膏剤、液剤については平成11年7月に、フェルビナク3%以下を含有するエアゾール剤については平成12年7月に指定医薬品から解除されている。）</p>



肩・腰 関節・筋肉の痛みに
パスタイム FX

全方向伸縮タイプ

14枚入
7cm×10cm

ご使用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要なときに読めるよう大切に保管してください。

押しあけてください

鎮痛消炎プラスチック剤 パスタイム FX 医薬品

(特長)

- パスタイムFXは、大塚薬のプラスチック剤で初めて医療用と同じ成分フェルビナクを配合しました。
- フェルビナクは痛みに関する物質(プロstagランジン)の生成を抑え、肩・腰・関節・筋肉の痛みにすぐれた効き目をあらわします。
- 無臭性で、人前でも気になりません。
- 伸縮性にすぐれ、お肌によくフィットします。
- 3ピース(中央剥離方式)なので、はりやすい。

△【使用上の注意】

☒ (してはいけないこと)

- 【守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる】
(1)今までに本剤によるアレルギー症状(例えば発疹、発赤、かゆみ、かぶれなど)を起こしたことがある人、(2)せんそくを起したことがある人、(3)皮膚に炎症がある人、(4)汗をかいてしまう人。(1)自の周囲、粘膜など。(2)湿疹、かぶれ、傷口。(3)みずむし・たむし・芽又は化膿している部位。(4)汗をかいてしまう人。

☒ (相談すること)

- 【必ず医師、薬剤師に相談する】
(1)医師の治療を受けている人。(2)妊娠又は妊娠していると思われる人。(3)本人又は家族がアレルギー体質の人。(4)今までに薬や化粧品などによるアレルギー症状(例えば発疹、発赤、かゆみ、かぶれなど)を起こしたことがある人。(5)皮膚に炎症がある人、(6)汗をかいてしまう人。(7)汗をかいてしまう人。(8)汗をかいてしまう人。(9)汗をかいてしまう人。(10)汗をかいてしまう人。

- (1)使用後、次の症状があらわれた場合。
【関係部位 症状】
反・腰 発症 発赤、はれ、かゆみ、ヒリヒリ感、かぶれなど
(2)5~6日間使用しても症状の改善がみられない場合。

製造番号

使用期限

(効能・効果)

関節痛、筋肉痛、腰痛、腱鞘炎(手・手首・足首の痛みと腫れ)、肘の痛み(テニス肘など)、打撲、捻挫、肩こりに伴う肩の痛み

(用法・用量)

表面のライナーをはがし、1日2回を限度として患部に貼付する。

用法・用量に関する注意

- (1)定められた用法(用量を守ってください)。
- (2)本剤は、痛みやはれ等の原因になっている病気を治療する目的ではなく、痛みやはれ等の症状のみを治療する薬剤なので、症状がある場合だけ使用してください。
- (3)汗をかいたり皮膚がぬれている時は、よくふき取ってから使用してください。
- (4)15歳未満の小児には使用させないでください。

(成分・分量)

膏体 100g中
フェルビナク 0.5g
添加物としてメントール、流動パラフィン、ステレン・イソブレン・ステレンブロック共重合体、その他4成分を含有します。

(保管及び取扱い上の注意)

- 1.直射日光や高温をさけ、なるべく湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- 2.小児の手のとどかない所に保管してください。
- 3.誤用を防ぐ、品質を保証するため、他の容器に入れかえないでください。
- 4.品質保持のため、未使用分は袋に入れ、開口部をおひまげきちんと閉めて保管ください。
- 5.使用期限(この箱及び突きに記載)をすぎた製品は使用しないでください。

(包装) 14枚 (7cm×10cm)

祐徳薬品工業株式会社

佐賀県鹿島市大字納富分2596番地1

[お客様相談窓口] TEL 0954-63-1231(代)

受付時間9:00~17:00(土、日、祝日は除く)

